



千の手

犬山
つが おかんのん
継鹿尾観音
寂光院



国登録文化財 本堂・随求堂「平成の大修理」成満落慶

これまで一、三五〇年、
これから五〇年、一〇〇年、二〇〇年！

尾張・美濃を一望できる犬山・木曾川のほとりの継鹿尾山に、万人の幸せを願って寂光院が建立されてより一、三五〇年。

ご本尊千手観音様をおまつりする本堂、七七月参りのご本尊随求菩薩をおまつりする随求堂（ともに国登録文化財）の「平成の大修理」事業が、本日ここに成満し、落慶式を迎えることができました。

これひとえに寂光院に篤いお心を寄せて下さいました全国の皆様方のおかげと心より感謝申し上げます。

これから五〇年、一〇〇年後の子供たちや孫たちに寂光院の自然と景観が伝承でき、千手観音様、随求尊様のお徳に浴することができますよう念ずる次第です。

今後とも皆様のご信助ご信援のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

平成二十二年十月十七日

台掌

犬山 継鹿尾山 寂光院
山主 松平 實胤

【現代の世相を表わす究極の漢字一文字】

便利な時代になりました。さて「便利さ」を一文字で表現するとしたら、どんな漢字をイメージされますか。

男性に多い回答は「速」、女性に多い回答は「楽」だそうです。なるほど現代は何でも速くなりました。楽になりました。当然その分ゆとりが生まれたはずですが、しかし、現実には皮肉なものです。便利になればなるほどそのゆとりを失っていくようです。我々はゆとりができるとその時間を有効に使おうと何か別のことを始めます。早い話が便利になればなるほど、やるが多くなる、仕事量が多くなるということ。結果忙しくなるのです。

そこで便利さを表わす究極の漢字一文字、「忙」は如何でしょう。現代の世相を象徴していませんか。



命よりも大切なもの

犬山・寂光院山主

まつ だら
松 平 實胤

さて、この漢字は立心編に亡と書きます。心を亡ぼす、心を亡くす、今心がここになんかということ。目先のことに心を奪われ「心ここにあらざれば視れども見えず、聴けれども聞かえず、食らえどもその味を知らず（大学）」の状態と言えはよいでしょう。結果「真心」を失い、「良心」を失い、「感動する心」を失って潤いのない時代になりました。現代の世相はまさに「忙」、目先の利益と効率にのみ目が行き、本当に大切なものを見失ってしまったようです。

【生物多様性】

万人にとって一番大切なものは「命」に決まっています。誰でも「命は一個。人生は一回。生を受けたものは必ず死ぬ、いつ死ぬか分からない」。これが命の特徴です。ですから「今命あるは有り難し」、私が「今ここに元気です」といわれること自体「奇跡」です。ですから大切なものは自分の命に決まっています。同様にこの地球には三千万種といわれる多様な生き物がそれぞれかけがえのない尊い命を生きています。さて、仏教徒の一番大切な戒は「不殺生」です。しかし、私たち人間は微生物から動植物まで、それぞれのかけがえのない尊い命を利用せずには生きていけません。医薬医療から、衣食住のすべてを他の命に依存して暮らしています。また私どもが豊かで快適な生活を求めれば求めるほど、子どもを生かそう生かそうとして下さる天地自然、空気、水、早い話がこの環境を汚すこととなります。暑い夏にエアコンは実に快適です。しかし、外気を汚し、地球の温暖化に手を貸して多様な生き物の命を脅かすこととなります。到底誰もこの最重要戒「不殺生」を守るようになって出来ません。

【仏さまに出会う】

間違いなく自分の命は大切です。しかし、さらに大切なものがあります。それは、私を生かそう生かそうとして下さる天地宇宙、私を支えて下さるすべての「人」「もの」「条件」、まさに「ご縁の世界」です。これを仏教では「仏さま」と呼んでいます。

仏さまのおかげで、私は「今ある自分の命が大切だ」と実感でき、自分以外の命持てるものに優しくなれるのだと思います。これが不殺生戒の心でしょう。

命よりも大切なもの（＝仏さま）があると知ってはじめて、自分の力を過信する傲慢な私にも「生かされて生きる喜びと感謝と敬いの心」が戴けるのだと思います。

国登録文化財・本堂、随求堂

寂光院 平成の大修理

国登録文化財

本堂

随求堂

平成の大修理

自・平成二十年一月 至・平成二十二年九月

落慶式 平成二十二年十月十七日(日)

施工 (株) 竹中工務店

仏像修復(有) 宗教美術工房

事業概要

本体工事

- 一、随求堂 解体修復・耐震・屋根替
- 一、本堂 解体修復・耐震・屋根替
- 一、本堂受付棟 修復

仏像修復

- 一、本堂内 ご本尊脇仏(不動明王・毘沙門天) 解体修復
- 一、本堂内 信貴山毘沙門天お前立 解体修復
- 一、随求堂内 西国三十三観音 三十一体 解体修復
- 一、随求堂内 西国三十三観音 二体 新造
- 一、随求堂内 開山、中興、再建祖师像三体 解体修復
- 一、随求堂内 役行者、眷属二体 解体修復

付帯工事

- 一、境内整備
- 一、玉垣建立整備、記念碑建立



随求堂

本堂



信貴山 毘沙門天



本堂 毘沙門天



本堂 不動明王



1番 青岸渡寺



5番 葛井寺



4番 施福寺



3番 粉河寺



2番 紀三井寺



9番 興福寺



8番 長谷寺



7番 岡寺



6番 壺阪寺



13番 石山寺



12番 正法寺



11番 上醍醐寺



10番 三室戸寺

右脇土不動明王

(5)



17番 六波羅蜜寺

16番 清水寺

15番 今熊野観音寺

14番 三井寺



21番 穴太寺

20番 善峯寺

19番 革堂

18番 六角堂



25番 播州清水寺

24番 中山寺

23番 勝尾寺

22番 總持寺



29番 松尾寺

28番 成相寺

27番 圓教寺

26番 一乗寺



33番 華厳寺

32番 観音正寺

31番 長命寺

30番 竹生島宝厳寺

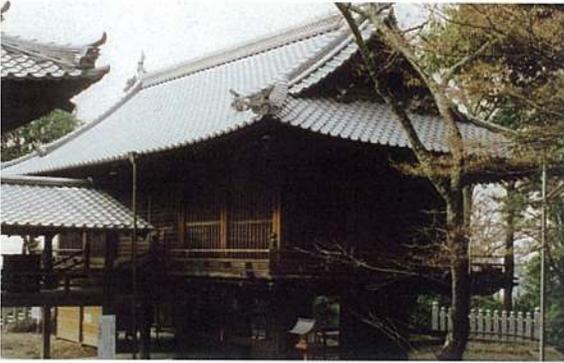
平成二十二年五月十九日

(株) 竹中工務店社長・竹中統一氏 来山

この度の「平成の大修理」は(株)竹中工務店名古屋支店の設計施工によりますが、その竣工の視察に竹中統一氏が来山されました。もともと竹中家は宮大工棟梁としての輝かしい歴史を伝承して今日に到ります。寂光院の建築物の殆どが竹中家の手になるものであります。平成十九年に修理を施した薬医門(当山の山門)並びに今回の随求堂は竹中家第九代竹中和泉正敬の名が、本堂は十二代竹中和泉正敏の名が棟札に見られます。現在の鉄筋の庫裏・事務所・内仏堂も(株)竹中工務店の施工であります。統一氏は竹中家第十六代当主で、今回ご先祖ゆかりのお堂を感慨深く参詣して回られました。



竹中社長と松平山主 (随求堂正面)



随求堂北西部

「平成の大修理」落慶慶祝(十一月五日(金)〜七日(日))

新 聞
2010年(平成22年)6月28日(月曜日)

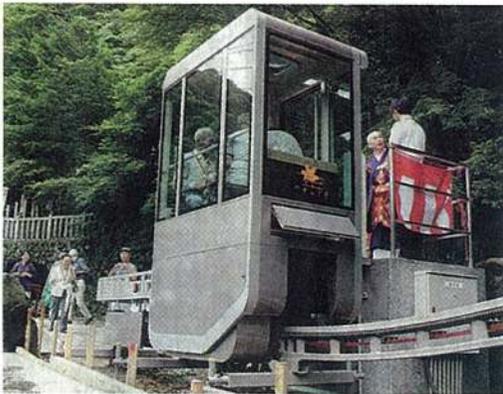
参拝の高齢者に朗報

犬山の
寂光院 スロープカー運行へ

「尾張のみぢ寺」として知られる犬山市継鹿尾の寂光院で、七月一日から参拝者用のスロープカーが運行される。三百二十段の石段が続く本堂までの上り下りが楽になり、高齢者らに歓迎されそう

スロープカーは全自動呼び出し押しボタン方式(一般のエレベーター仕様)で、定員六人。全長百六十センチの上を自走し、境内最上部の駐車場から高低差九十センチの本堂までを四分で結ぶ。途中の不動堂には中間駅がある。

運行は原則毎日(荒天時などを除く)、午前八時〜午後五時。利用できるのは本堂への参拝者で、足腰が



開通式でスロープカーに試乗する関係者ら=犬山市継鹿尾の寂光院で

弱く石段の昇降に自信がない高齢者ら。総事業費は二千八百万円。

二十七日には安全祈願の法要と開通式があり、清掃ボランティアなどをする同寺の世話人ら関係者がスロープカーに試乗した。

松平実胤山主は「平成の大修理の落慶法要が十月にあり、『改修した本堂を見たいが石段を上る自信がない』といった声がお年寄りを中心に多く寄せられた。スロープカーの開通で、これまで参拝をちゅうちょしていた方にも気軽にお越しただけのでは」と話していた。



本堂で大護摩祈祷

九万九千日大祭 (八月九日)

&ひろさちや仏教講演会

暑い盛りの八月九日は、この日にご本尊千手観音に参詣すると九万九千日分の功德のある日、つまり観音様の「最多功德日」で当山の大祭です。昨年は「平成の大修理」の最中でしたので山麓の聖徳殿でお勤めを致しました。今年は改修なった本堂で功德万倍大護摩祈祷を奉修することができ、法悦もひとしおでした。

午後からは恒例の「ひろさちや仏教講演会」が聖徳殿で開催されました。ひろさちや先生は昭和六十一年より一度も欠かすことなく今年で二十五回目の講演で、会場の聖徳殿は立錐の余地なく参詣のご信徒が聴聞されました。



ひろさちや仏教講座会

「やすらぎ説法」特別講演会 (九月十二日)

講師 「仏像ガール」 広瀬郁美先生

毎月第二日曜日は「やすらぎ説法」が聖徳殿で開かれます。松平實胤山主が昭和六十年の年頭に発願して以来、聞いてくださる皆様方のおかげで二十六年続けることが出来ました。年に三人ほどのゲストスピーカーをお迎えしてきましたが、九月は「仏像ガール」こと広瀬郁美先生をお招きして、「寂光院の仏たち」と題してお話をうかがいました。

この度の「平成の大修理」で四十一体の仏様の修復をいたしました。十一月五日〜七日の落慶慶祝行事(秘仏本尊千手観音大開帳、修復仏像四十一体特別公開)を前に、仏像の見方、感じ方をお話いただきました。

若い講師の「仏像ガール」先生のお話は実に爽やかでとても魅力的でした。



「寂光院の仏たち」



松平山主と仏像ガール

きりとり線

七ヶ月お参りすると大願成就!!

月例行事

◎七ヶ月まいり

- 五日 健康長寿 大随求尊縁日
- 十八日 一心祈願 千手観音縁日
- ・各十時半より、大護摩祈禱と松平山主の法話
- ・名鉄犬山遊園駅よりバス運行

「縁の日が」縁日

いつでも都合のよろしい日が「縁日」
七ヶ月まいりの受付は年中無休です。

◎やすらぎ説法 毎月第二日曜日 十一時

寂光院友の会 千手会ご案内

千手会は寂光院に心を寄せて戴いている皆様の集いです
千手会にはわずらわしい制約は一切ありません
千手会はすべて自由参加です 是非ご入会下さい
(毎月の「やすらぎ説法」は千手会の催事です)

千手会申込書

正会員 (一口三千円) 口 円
賛助会員 (一口三万円) 口 円

住所 〒 右申込致します

氏名 _____ おとし
電話 _____

年 _____ 月 _____ 日 _____

きりとり線

お写経の集い (般若心経を読む・聞く・書く)

とき 毎月第二・第四
日曜日午前十時

静寂な山寺のお堂の中
でみ仏と対座して一心に
筆を取る。般若心経一巻
をお写しするのに一時間
程かかります。

お写経の前には松平山
主と共に読経
松平山主の法話

◎写経用具は当方にとり
揃えてあります。
お気軽にご参加下さい。

前田道雄 写仏教室

写仏はまったく初めて
の方を対象に基礎の基
礎から始めます。

とき 毎月第三土曜日
午後一時

松平實城 二詠歌教室



ご詠歌はまったく初め
ての方を対象にとても
「楽しく」「優しく」教
えて下さいます。

とき 毎月十八日
午後二時

寂光院への連絡方法

- ①電話 0568 (61) 0035
- ②FAX 0568 (61) 5953
- ③〒振替 00800-4-40664
- ④ホームページ

<http://www.jakkoin.com/>

発行所

継鹿尾観音 寂光院

〒四八四〇〇九一

愛知県犬山市継鹿尾山

平成二十二年十月十七日発行

(第四十八号)